

宿泊約款

(適用範囲)

- 第1条** 当館が宿泊客と間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等(法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。)又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2 当館が、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。

- 宿泊者名
- 宿泊日及び到着予定時刻
- 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による。)
- その他当館が必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

(web取引の場合)

宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾する旨をインターネットの当館の予約受付サイト URL(以下、当サイトといいます)に表示した時、または、その旨の電子メールがお客様の指示するメールアドレスを管理するサーバーに到達した時に成立するものとします。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えときは3日間)の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を当館が指定する日までにお支払いいただきます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定する当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合には限りません。

5 当館が、当サイトに誤った宿泊料金を表示し、当該宿泊料金に基づき、契約の申込みをされ、当館が承諾をした場合は、当該料金がその前後の期日の宿泊料金に比して著しく低廉であるときは、当該料金につき「限定」、「特別」、「キャンペーン」等の低廉である理由の表示のない限りは、民法上の錯誤による承諾であることから、宿泊契約は無効とさせていただきます。速やかにその旨の通知を差し上げます。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(施設における感染防止対策への協力の求め)

第4条の2 当館は宿泊しようとする者に対し、旅行業法(昭和23年法律第138号)第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は当館が、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- 満室より客室の余裕がないとき。
- 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をそのおそれがあると認められるとき。
- 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員の中に暴力団員に該当する者があるもの
- 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者」という。)であるとき。
- 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)以下「障害者差別解消法」という。第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
- 宿泊しようとする者が、当館に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- 群馬県旅館業施設の衛生措置の基準に関する条例第5条(第1、2号)の規定する場合に該当するとき。

(宿泊契約締結の拒否の説明)

第5条の2 宿泊しようとする者は、当館に対し、当館が前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2 当館は、宿泊客が宿泊契約の全部または一部を解除した場合は、別表第2に掲げるところにより、取消料を申し受けます。ただし当館が第3条第1項に定める申込みを承諾する際に、宿泊客が宿泊契約を解除したときの取消料支払義務について、当館が「宿泊客に告知したときに限り」を付す。

3 当館は、宿泊客が連絡をしないで「宿泊日当日の午後7時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当館の契約解除権)

第7条 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。ただし、本項は、当館が、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をそのおそれがあると認められるとき、又は同行行為をしたと認められるとき。
- 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員の中に暴力団員に該当する者があるもの
- 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
- 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
- 宿泊客が、当館に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- 群馬県旅館業施設の衛生措置の基準に関する条例第5条(第1、2号)の規定する場合に該当するとき。
- 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
- 2 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。ただし、前項6号以外の事由による場合には、いまだ提供を受けていない宿泊等のサービス等の料金相当額の違約金を申し受けます。この場合、第18条に基づく請求を妨げられるものではありません。

(宿泊契約解除の説明)

第7条の2 宿泊客は、当館に対し、当館が前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
- 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号

- その他当館が必要と認める事項
- 宿泊客が第12項の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- 超過3時間までは、室料金の30%
- 超過6時間までは、室料金の60%
- 超過6時間以上は、室料金の100%
- 前項の室料相当額は、基本宿泊料の70%とします。(利用規則の遵守)

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は、当館内においては、当館が定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条 当館の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内いたします。

- フロント・キャッシャー等サービス時間:
 - フロントサービス 午前7時00分から午後9時00分
 - ロ 門限 正面玄関は24時間ご利用いただけます。
- 飲食等(施設)サービス時間:
 - 朝食 午前7時00分から午前9時00分
 - 夕食 午後6時00分から午後8時00分
- 前項の時間は、必要やむをえない場合には臨時に変更することがあります。その場合には適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等に代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行なっていただきます。

3 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当館の責任)

第13条 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものではないときは、この限りではありません。

2 当館は、万一の火災等に処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は10万円を限度としてその損害を賠償します。

2 宿泊客がお預けになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館は、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、10万円を限度として当館はその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条 宿泊客の手荷物、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当館は当該所有者に連絡をするともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第17条 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであっても、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失により損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1 宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	① 基本宿泊料(室料+朝・夕食料)
	追加料金	② 追加飲食(朝・夕食以外の飲食料)及びその他の利用料金
	税金	イ 消費税 ロ 入湯税

備考 1. 基本宿泊料は、フロントに提示する料金表によります。
2. 子供料金は小学生以下に適用し大人に準じる食事と寝具を提供したときは大人料金の70%、子供用食事と寝具を提供したときは50%、寝具のみを提供した時は3,300円いただきます。寝具及び食事を提供しない幼児については2,200円をいただきます。

別表第2 取消料(第6条第2項関係)

契約解除の通知を受けた日	不 泊	当 日	前 日	2 日 前	3 日 前	5 日 前	6 日 前	7 日 前	8 日 前	14 日 前	15 日 前	30 日 前
	契約申込人数											
14名まで	100%	100%	50%	30%	30%							
15名～30名まで	100%	100%	50%	30%	30%	30%						
31名～100名まで	100%	100%	80%	50%	30%	30%	20%	20%	10%	10%		
101名以上	100%	100%	80%	50%	50%	30%	30%	30%	15%	15%	10%	10%

(注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。

Accommodation Contract (General Terms and Conditions)

Article 1 - Scope of Application

01.01. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Ryokan/Hotel and the Guest shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations, etc. (referring to laws and regulations or rules based thereon; the same shall apply hereinafter) and/or generally accepted practices.

01.02. In the case when the Ryokan/Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations, etc., and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Article 2 - Application for an Accommodation Contract

02.01. The Guest who intends to apply to our Hotel for an Accommodation Contract will be required to provide our Hotel with the following particulars:

- (1) Name(s) of Guest(s) to be registered.
- (2) Date(s) scheduled for overnight stay and estimated time of arrival.
- (3) Accommodation charge (according, in principle, to the basic accommodation charges described in the attached Schedule 1).
- (4) Other information considered necessary by our Hotel.

02.02. In the case that the Guest has requested, during his/her stay, an extension of an overnight stay beyond the date described in the preceding Paragraph (2) above, our Hotel shall handle his/her request as a new application for an Accommodation Contract which has been made at the point in time when the said request has been made.

Article 3 - Conclusion, etc. of the Accommodation Contract

03.01. The Accommodation Contract shall be considered to have been concluded at the time when our Hotel has accepted the application described in the preceding Article, unless our Hotel has certified that our Hotel has not accepted the said application.

In the case of a transaction on the web, an Accommodation Contract shall be considered to have been concluded when our Hotel indicates on our Hotel's reservation web site (hereinafter referred to as the "Website") that it has accepted the application described in the preceding Article or when an e-mail to that effect reaches the server managing the e-mail address prescribed by the Guest concerned.

03.02. When the Accommodation Contract has been concluded under the provision of the preceding Paragraph, the Application Money payable for the period scheduled for overnight stay as prescribed by our Hotel shall be paid by the date set by us, up to the maximum amount equal to the basic accommodation charge for 3 days in cases where the period scheduled for overnight stay exceeds 3 days.

03.03. The Application Money shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge payable, and when the circumstances requiring application of the provisions of Article 6 and Article 18 have arisen, to penalty and then to compensation money in this order. If there is any balance left it will be repaid at the time when the Accommodation Charge is paid as provided in Article 12.

03.04. In the case that the Application Money described in Paragraph 2 of this Article has not been paid by the date set by us as stipulated in the same Paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid, but limited only to the case where our Hotel has notified the Guest to that effect at the time when prescribing the day due for payment of the Application Money.

03.05. If our Hotel accepts an application for an Accommodation Contract that the Guest concerned makes based on an accommodation charge displayed on the Website by our Hotel by mistake and if the said accommodation charge is significantly lower than the accommodation charge for the day preceding or following the day subject to the said application, the Accommodation Contract shall be (unless that lower accommodation charge is accompanied with an indication such as "limited", "special", or "campaign", etc., stating the reason for a lower charge) void on the ground that the said acceptance constitutes an acceptance by mistake under the Civil Code. In this case, our Hotel shall promptly notify the Guest to that effect.

Article 4 - Special Contract Requiring Non-Payment of the Application Money

04.01. Notwithstanding the provision of the preceding Article, Paragraph 2, there are cases where our Hotel accept a Special Contract which does not require payment of the Application Money specified in the said Paragraph after the conclusion of the Contract.

04.02. When accepting an application for an Accommodation Contract, in the case that our Hotel fails to request payment of the Application Money specified in the preceding Article, Paragraph 2, and/or in the case that it fails to prescribe the due date for payment of the said Application Money, the Special Contract described in the preceding Paragraph shall be considered to have been accepted.

Article 4-2 - Request for Cooperation with Infection Prevention Measures at the Facilities

The Ryokan/Hotel may request the Guest seeking accommodation to provide necessary cooperation as stipulated in Article 4-2, paragraph (1) of the Hotel Business Act (Act No.138 of 1948).

Article 5 - Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract

05.01. The following are cases where our Hotel will not accept the conclusion of the Accommodation. However, this Paragraph does not indicate that the Ryokan/Hotel may refuse accommodation in cases not listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- Contract:
- (1) When application for accommodation is not based on this Contract.
 - (2) When there is no room available due to full occupancy.
 - (3) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals.
 - (4) When the Guest seeking accommodation is considered to be corresponding to the following (a) to (c).

(a) The law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members (1991 Law item 77) stipulated article 2 item 2(hereinafter referred to as "gang group"), gang member stipulated by the same law article 2 item 6(hereinafter referred to as "gang member"), gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.

(b) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.

(c) When a corporate body has related persons to gang members.

(5) When the guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.

(6) When the Guest seeking accommodation is an individual, such as a patient with a specified infectious disease (hereinafter referred to as a "Patient with a Specified Infectious Disease") as defined in Article 4-2,item (ii) of the Hotel Business Act.

(7) When the Guest seeking accommodation makes a demand with violence or makes unreasonable demands that impose a significant burden on the Ryokan/Hotel with regard to accommodation (excluding cases where the Guest seeking accommodation requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7,paragraph (2) or Article 8, paragraph (2) of the Act on Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability (Act No. 65 of 2013; hereinafter referred to as the "Disability Discrimination Elimination Act").

(8) When the Guest seeking accommodation has repeatedly made a request to the Ryokan/Hotel as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request whose burden is excessive in its implementation and which may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests.

(9) When a natural disaster, trouble with facilities, and other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our Hotel.

(10) When the provision of Article (No.1.2)of 5 Metropolitan/Prefectural Ordinance are applicable.

Article 5-2 - Explanation about Refusal of Accommodation Contracts

If the Ryokan/Hotel refuses to accept an application for an Accommodation Contract pursuant to the preceding Article,the Guest seeking accommodation may request an explanation for the refusal from the Ryokan/Hotel.

Article 6 - The Guest's Right to Cancel the Contract

06.01. The Guest may request our Hotel to cancel the Accommodation Contract.

06.02. If a Guest cancels the Accommodation Contract concerned in whole or in part, our Hotel shall request the Guest to pay a penalty for cancellation as specified in the attached Schedule 2; provided, however, that, this shall apply only in cases where our Hotel has, in accepting the application prescribed in Article 3, Paragraph 1, notified the Guest of his/her responsibility to pay a penalty for cancellation.

06.03. In the case that the Guest does not arrive by 7 p.m. on the day of an overnight stay without informing our Hotel of a delay (or after the lapse of 2 hours past the scheduled time of arrival if indicated by the Guest beforehand), the Accommodation Contract concerned may be considered to have been cancelled by the Guest and will be handled accordingly.

Article 7 - The Right of Our Hotel to Cancel the Contract

07.01. The following are cases where our Hotel may cancel the Accommodation Contract:

(1) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.

(2) When the Guest is clearly considered to be corresponding to the following (a) to (c).

(a) Gang group, gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.

(b) When a corporate body or other organization where gang groups or gang members control business activities.

(c) In a corporate body which has persons relevant to gang member in its board member.

(3) When the Guest in accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.

(4) When the Guest is clearly considered to be a patient with an infectious disease.

(5) When having accommodation, a violent action is carried out, or demanded a burden beyond the reasonable purview.

(6) When unavoidable causes, such as act of God, etc., prevent the Guest from staying at out Hotel.

(7) When the provision of Article (No.1.2) of 5 Metropolitan/Prefectural Ordinance are applicable.

(8) When the Guest smokes in bed or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by our Hotel (limited only to those matters necessary for fire prevention) among the rules of use prescribed by our Hotel.

07.02. In cases where our Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding Paragraph, charges for accommodation services, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable. However, if the cancellation is for any reason other than the reason listed in item 6 of the preceding Paragraph, our Hotel shall request the Guest to pay a penalty equivalent to the amount of charges for the un-received accommodation services, etc., which shall not preclude our Hotel from claiming compensation against the Guest pursuant to Article 18.

Article 7-2 - Explanation about Cancellation of Accommodation Contracts

If the Ryokan/Hotel cancels an Accommodation Contract pursuant to the preceding Article, the Guest may request an explanation for the cancellation from the Ryokan/Hotel.

Article 8 - Registration of Accommodation

08.01. The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of our Hotel:

- (1) Name, address and contact information of the Guest(s).

(2) Nationality and passport number of the Guest(s) if he/she does not have a home address in Japan.

(3) Other particulars deemed necessary by the Ryokan/Hotel.

08.02. In the case that the Guest intends to pay the charges described in Article 12 by using such means in place of currency as traveler's checks, accommodation coupons, credit card, etc., he/she will be required to show them at the time of registration described in the preceding Paragraph.

Article 9 - Time Allowed for Use of the Guest room

09.01. The time allowed for the Guest to use the guest room of our Hotel shall be from 2p.m.till 10a.m. of the following morning, except when the Guest stays for more than one night in succession, in which case the Guest may use the guest room all day except the day of arrival and the day of departure.

09.02. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, there are cases where our Hotel may accept the use of the guest room in hours other than those specified in the preceding Paragraph, in which case an additional charge will be required as specified below.

(1) Up to 3 hours in excess of the prescribed hours.....30% of the room charge

(2) Up to 6 hours in excess of the prescribed hours.....60% of the room charge

(3) 6 hours or more in excess of the prescribed hours.....Full amount equal to the room charge

09.03. The amount equivalent to the room charge as described in the preceding Paragraph shall be 70% of the basic accommodation charge.

Article 10 - Compliance of the Rules of Use of the Hotel

10.01. While staying in our Hotel, the Guest will be required to comply with the Rules of Use posted inside our Hotel as prescribed by us.

Article 11 - Business Hours

11.01. The business hours of principal facilities in our Hotel shall be as follows. Details of the service hours of other facilities are explained in the pamphlet provided, displays at major points inside our Hotel, and the service directory provided in each guest room.

(1) Service Hours of Front Desk, Cashier, etc:

(a) Front Desk 7:00a.m.to 9:00p.m.

(b) Curfew : the main entrance shall be open for 24 hours.

(2) Drinking and Eating (Facilities) Service Hours:

(a) Breakfast 7:00a.m.to 9:00a.m.

(b) Dinner 6:00p.m.to 8:00p.m.

11.02. The service hours described in the preceding Paragraph may be changed temporarily for unavoidable reasons, in which case the Guest will be notified by proper means.

Article 12 - Payment of Charges

12.01. The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest shall be as listed in the attached Schedule 1, 12.02. Payment of the accommodation charges, etc. described in the preceding Paragraph shall be made in currency or by other alternative means acceptable by our Hotel, such as traveler's check,

accommodation coupon, credit card, etc., at the front desk at the time when the Guest departs from our Hotel or is charged by our Hotel. 12.03. In the case that the Guest has not stayed at our Hotel at his/her discretion even after we have offered the guest room to the Guest and made it available for him/her to use, the accommodation charge will still be charged.

Article 13 - Responsibility of Our Hotel

13.01. In the case that we have inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract and related Contracts or in breach of these Contracts, we shall compensate for the said damage, unless the said damage has been caused due to a cause not attributable to us.

13.02. Our Hotel is covered by the Hotel liability insurance to cope with emergencies in the case of fire, etc.

Article 14 - Handling In Case the Guest Room Contracted Is Not Available

14.01. Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable for him/her, our Hotel shall try to offer other accommodation facilities under the same conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest concerned.

14.02. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, in cases where we are unable to offer other accommodation facilities to the Guest, we shall pay to him/her a compensation charge equivalent to the penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. However, in cases where there is no cause attributable to us for not being able to offer the guest room, we shall not pay the compensation charge.

Article 15 - Handling of Checked Articles, etc.

15.01. When the articles, cash and/or valuables checked by the Guest at the front desk have been lost or damaged, our Hotel shall compensate for the damage, unless the loss or damage has been caused by force majeure.

However, in the case of cash and valuables, we shall do so only when the Guest has clearly reported the kind and value of such cash and valuables at our request. Otherwise we shall compensate for the damage up to the maximum amount of 100,000 yen.

15.02. When the Guest has brought into our Hotel articles, cash and/or valuables but has not checked them at the front desk we shall compensate for the loss or damage inflicted on them if caused intentionally or negligently on our part, except when the Guest has not clearly reported to us beforehand the kind and value of such items lost or damaged, in which case we shall compensate for the loss or damage up to the maximum amount of 100,000 yen unless we are intentionally or negligently responsible for such loss or damage.

Article 16 - Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest

16.01. When the baggage of the Guest has arrived at our Hotel prior to his/her arrival, our Hotel will keep it subject to our agreement given prior to its arrival, and will hand it to the Guest at the time when he/she checks in at the front desk 16.02. In the case that the baggage or personal belongings of the Guest are found misplaced after he/she has checked out, our Hotel shall ask the owner of such items for his/her instructions when the owner has been identified. However, when there are no instructions from the owner or the owner has not been identified, our Hotel shall keep them for 7 days including the day when they have been found, and shall deliver them to a police station near our Hotel after a lapse of 7 days. 16.03. The responsibility of our Hotel regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall conform to the provision of the preceding Article, Paragraph 1, in the case of Paragraph 1 of this Article and to the provision of the preceding Article, Paragraph 2, in the case of the preceding Paragraph. 16.02.

Article 17 - Responsibility for Parking

17.01. When the Guest uses the parking area of our Hotel, our Hotel only lends the parking area and does not assume responsibility for care and custody of the vehicle parked, regardless of whether or not our Hotel has been asked to keep the key to the vehicle. However, our Hotel shall be liable for compensation if and when the vehicle parked is damaged intentionally or negligently on our side while keeping the parking area under our control.

Article 18 - Responsibility of the Guest

18.01. In the case that our Hotel has suffered damage due to the intention or fault of the Guest, the Guest will be required to compensate to our Hotel for the said damage.

Schedule 1

Itemized Contents of Accommodation Charge, etc. for Hotels (Relating to Article 2 Paragraph 1, and Article 12 Paragraph 1) (Applicable to Accommodation Facilities where Breakfast and Dinner are not included and to Accommodation Facilities where Dinner is not included.)

Total Amount Payable by the Guest	Itemized Contents
Accommodation Charge	(1) Basic Accommodation Charge (Room Charge + Breakfast Charge)
Additional Charge	(2) Extra Meal & Drinks (other than Breakfast and Dinner) and Other Expenses
Tax	(a) Consumption Tax (Sales Tax) (b) Bathing Tax (applicable only in hot spring resorts)

Remarks

(1) Basic Accommodation Charge is based on the tariffs, which are posted at the front desk.

(2) A child's charge applies to children attending elementary school of ages (up to 12 years of age) and under. 70% of the adult charge shall be required when meals and bedding comparable to those for the adult are provided to such children.50% shall be required when meals and bedding for children are provided.3,300yen when only bedding for children is provided. For an infant to whom meals and bedding are not provided, 2,200yen shall be charged.

Schedule 2

Penalty(relating to Article 6, Paragraph) for Ryokans

Day When Cancellation Notice Received	No Show	Accommodation Day	1 Day Prior to A. Day	2 Day Prior to A. Day	3 Day Prior to A. Day	5 Day Prior to A. Day	6 Day Prior to A. Day	7 Day Prior to A. Day	8 Day Prior to A. Day	14 Day Prior to A. Day	15 Day Prior to A. Day	30 Day Prior to A. Day
Number of Guests Subscribed												
1 to 14	100 %	100 %	50 %	30 %	30 %							
15 to 30	100 %	100 %	50 %	30 %	30 %	30 %						
31 to 100	100 %	100 %	80 %	50 %	30 %	30 %	20 %	20 %	10 %	10 %		
101 and more	100 %	100 %	80 %	50 %	50 %	30 %	30 %	30 %	15 %	15 %	10 %	10 %

Note: (1) The percentage of the Penalty against the Basic Accommodation Charge.

(2) In the case that the number of days for accommodation has been reduced, Penalty for One Day (the first day of accommodation) shall be charged, regardless of the number of days reduced.